

年間授業計画

高等学校 (1学年用)

教科 国語

科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～ E組

教科担当者：(A組：橋本) (B組：橋本) (C組：橋本) (D組：鷹取) (E組：鷹取)

使用教科書：(現国104-904『改訂版 新編 現代の国語』(数研出版))

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】社会生活を豊かに生きるために必要な言語や言葉について、その特質を理解し適切に使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活を豊かに生きるために必要な言語や言葉をもとに、ものごとについて正確に考え、適切且つ多様に表現

【学びに向かう力、人間性等】言語、言葉のもつ価値や感覚を尊重するとともに、自身の言語能力の向上を図ることができる。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書	読					
1 学 期	他者と関わる 【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解できることを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握できる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。	・指導事項 1 「コクゴに関する世論調査」によると、相手との伝え合いでは何が重視されているか考える。 2 相手との伝え合いの中で自分が重視していることは何か、考える。 3 考えたことをまわりの人と話し合う。 ・教材 「風が通るとき」	○	○			【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	5
	他者と関わる 【知識及び技能】 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にすることができる。同時に、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。	・指導事項 1 教科書17ページの写真を見て、何の写真かを考え、まわりの人と意見交換する。 2 「情報はつくられる」とはどういうことか、説明する。 ・教材 「学び始める春」	○	○			【知識・技能】 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 【思考・判断・表現】 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査				○	○					1
	【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にすることができる。同時に、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。	・指導事項 1 情報を適切に扱うにはどうすればよいかについて、「情報はつくられる」「ひとまず、信じない」なども参考にしながら考える。 2 自分で調べた資料を加えて考えをまとめる。 3 まとめた自分の考えを3分間で発表する。 ・教材	○	○			【知識・技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思考・判断・表現】 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にすることができる。同時に、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	8
	D 情報を生かすために 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。	・指導事項 1 文章を読み、概要を把握する。 2 減災のためのツールをつくる時に最も大切なことは何か、筆者の考えを説明する。 3 筆者の考えるハザードマップの問題点を、整理する。 ・教材 「減災学をつくる」	○	○	○		【知識・技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思考・判断・表現】 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	7
定期考査				○	○					1	

2 学 期	<p>A よりよい読み手になるために</p> <p>【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことができることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。</p>	<p>・指導事項1 文章を読み、概要を把握する。2 事例を比較して述べる方法の、長所と短所について考える。</p> <p>・教材 「読むことのレッスン」</p>	○	○	○	○	○	○	○	5	
	<p>B 場に応じて伝えるために</p> <p>【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特色や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1 聞き手を意識して、五枚のフリップを使った方法を確認する。</p> <p>2 教科書の「学習活動2」にある問題などを参考にしてテーマを設定し、プレゼンテーションのフリップと発表原稿を作成する。</p> <p>・教材 「構成や展開を意識して発表するープレゼンテーション」</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	8
	定期考査				○	○					1
	<p>C 説得力を高めるために</p> <p>【知識及び技能】 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1 文章を読み、概要を把握する。</p> <p>2 筆者が声田愛菜さんの文章を引用した意図を、推論する。</p> <p>3 引用の効果をふまえて自分の「折々のことば」を見つけ、記録する。</p> <p>・教材 「折々のことば」</p>	○	○	○						7
<p>D 説得力を高めるために</p> <p>【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1 自分の好きな本やおもしろいと思った本の紹介を書こう。</p> <p>2 「宝探してみたいに本の世界へ入っていきます」を参考に、実際に「本に触れる」ことをテーマとした提案をする。</p> <p>3 次の手順を参考に、実際にブックトークをする。</p> <p>・教材 「情報を整理して推薦するーブックトーク原稿」</p>	○	○	○						7	
定期考査				○	○					1	
<p>A 説得力を高めるために</p> <p>【知識及び技能】 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1 文章を読み、概要を把握する。</p> <p>2 筆者の伝えなかったことは何か、まとめよう。</p> <p>3 「檻の中の『街』」と読み比べ、表現上の特色を指摘する。</p> <p>・教材 「小さな哲学者」</p>	○	○	○						4	

